



過去会計 or 未来会計か！
(現状を把握する) (未来を創る)

—下記の項目を分けて下さい—



会計の概念として又はジャンル区分として、過去会計と未来会計に区分する言葉があります。言葉通りスッキリ分けられるといいのですが、運営の仕方によってどちらにもなる場合があります。左記の資料及び行為を3つのジャンルに分けましたので参考にして取扱って下さい。

—過去会計(現状を把握する)—

株主総会(決算承認), 決算説明会, 月次決算, 税務調査, 記帳業務, 決算承認役員会, 決算書診断, 経営分析, C.F.計算書, 資金経過表, 会計監査, 3期比較損益, 確定申告, 試算表

—未来会計(未来を創る)—

経営計画書, 事業領域計画, 資金計画表, 借入金返済計画表, 経費削減表, 中期5ヶ年計画, 経営方針発表会, 経営理念, ビジョン, ミッション, 目標必達シート, C.F.計算書計画, 未来ノート, P.D.C.A., 設備投資計画書, 事業継承計画

—過去か未来か会計—

- ビジネスコンパ — 過去を語れば愚痴になり、未来を語れば夢になる。
- 業績報告会 — 昨日だけを言えば報告になり、明日を言えばモチベーションになる。
- 予実対比 — できない理由を言えば言いわけになり、できる理由を言えば未来へつながる。
- ストラック図表 — 普通に見れば概算損益、戦略が見えれば未来の利益。

HIROSE A.C.G は、未来会計を支援しています。